

平成23年度 大学の世界展開力強化事業構想の概要【米国大学等との協働教育の創成支援】

大学名	千葉大学
構想名称	大陸間デザイン教育プログラム (CODE Program)
相手大学等名 (国名)	Parsons School of Design(米国)、Glasgow School of Art(イギリス)ほか

【構想の目的及び概要】

本構想は、米国+欧州+日本の3つの異なるデザイン教育プログラムを有する大学が協働し、世界に通用する企業内デザイナーを育成するものである。未来の日本を担う創造型産業、特にサービス(システム・ソフトウェア)やコンテンツ(ゲーム・アニメーション・プロダクト)産業において、デザイナーは、中核的な役割を担っている。このような創造型産業において、将来活躍が期待できる人材が米国+欧州+日本で教育を受けることで、我が国の将来の創造型産業に寄与する人材として育成する。

本事業での一番の特色は、これまでにない3.5年(7セメスター)(学部)+2.5年(5セメスター)(修士)(Program B7M5 学部7セメスター+修士5セメスター)の新たな修業年限を持った独自のプログラムを運営し、アカデミックカレンダーのギャップをなくし、シームレスに米国と欧州の2つの異なる大学でそれぞれ6ヶ月、合計1年間の教育・研究を行い、実践型人材を育成するものである。学部を早期卒業することで、トータルの修業年限を増やすことなく、かつ学士・修士の学位を共に取得できるプログラムである。また、日本人学生には就職活動にも影響がなく、学生の留学に対する一番の不安を解消できるため、将来的な発展が期待できる。本構想に参加する学生は、2.5年間の修士課程の期間に、PBL などによる実践教育を主体とした英語によるプログラムを受講する。さらには、1年間の海外教育プログラムだけではなく、最長0.5年の海外インターンシップも経験させることを実現し、産業界とも連携した実践的な教育を行う。

欧州及び米国の学生は、自国の機関に1年、他の2つの機関にそれぞれ6ヶ月在籍し、合計2年以上在籍することで修士の学位を取得する。学位は、学生の入学した機関から発行されるが、それ以外に、2つの大学からはプログラムの修了証明書を授与する。これにより、修士+2つのプログラムの修了証明書の3つの大学からの証明書を取得できる。希望者には、6ヶ月の留学を2回、1年目と2年目に実施し、2回目の6ヶ月間では、日本の企業での長期のインターンを経験させ日本の企業に就職させることで、我が国の産業の発展に寄与する人材を育成する。もちろん、自国における日本企業の出先機関への就職も推奨する。

学部では、2年生の後半からの演習授業の一部を、修士課程では、全ての授業を英語で実施する。これは、学生の送り出し、受入の双方に対応するものである。学部の卒業要件は124単位と一般の学生と同じであるが、修士は、40単位と通常より10単位多い。欧州10単位、米国10単位、日本20単位を予定している。構想の目標としては、各学年、送り出し学生5名、受入学生10名の15名、合計30名の規模で運営する。また、デザインではすでにダブルディグリー・プログラムも実施しており、希望学生にはダブルディグリー(あるいはトリプルディグリー)・プログラムとするが、その場合は修士の修業年限が3.5年となり、Program B7M7 とし、Program B7M5 とは異なるものとする。

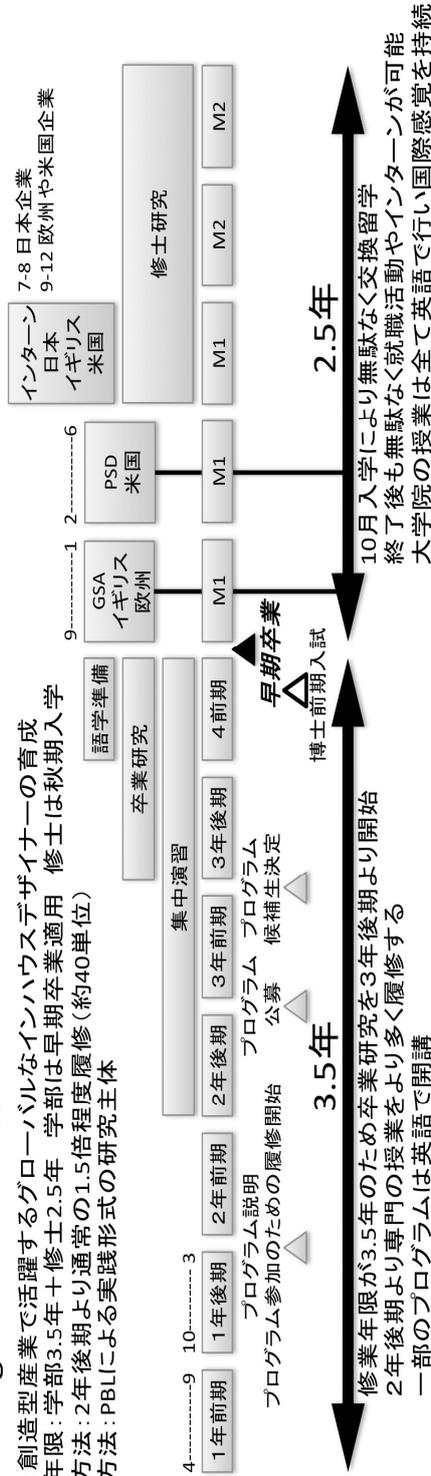
日本は、企業内のデザイン力が強く、多くの学生が企業内デザイナーになる。そのため、テクノロジー依存型のデザインが多く、教育のスタイルも技術よりのカリキュラムとなっている。一方、米国は、デザインをビジネスで展開することに長けており、経営の資産としてのデザインの活用が一番上手な国であり、ビジネスでのデザインの利用に関するカリキュラムが多く存在している。またもう一方の欧州では、プロモーションデザインに長けており、これまでデザインが未着手であった領域でのデザインの必要性の提案やデザインの開発能力に優れており、総合的なデザインのカリキュラムが多く存在している。このように全く異なる3つの特徴ある教育を受けることで、テクノロジー+ビジネス+プロモーションを総合的に体得できる。デザインのカリキュラムは各国の背景を色濃く映し出しており、全く文化の異なる大陸を横断したプログラムを構築することで、世界のデザインに関する知識を獲得でき、真にグローバルな人材を育成できる。

本プログラムは、千葉大学の世界展開の協働教育におけるパイロット・プログラムの役割を担っており、学内でいち早くダブルディグリー・プログラム、海外アライアンス・プログラムを始めたデザイン教育において、3.5+2.5プログラム(Program B7M5)を設置し、将来的には全学に発展させる。

[構想の概念図]

CODE Program B7M5 大陸間デザイン教育プログラム

目的：創造型産業で活躍するグローバルなインハウスデザイナーの育成
 修業年限：学部3.5年＋修士2.5年 学部は早期入学 修士は秋期入学
 履修方法：2年後期より通常の1.5倍程度履修(約40単位)
 研究方法：PBLによる実践形式の研究主体



Continents Design Education Program



平成23年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	千葉大学
タ イ プ	B-II
構 想 名	大陸間デザイン教育プログラム (CODE Program)
<p>〔評価コメント〕</p> <p>日欧米のデザイン教育プログラムにおける目標の違い（テクノロジー（日本）、ビジネス（米国）、プロモーション（欧州））に着目し、創造型産業で、世界に通用するグローバルデザイナーを育成することに焦点をあてた日欧米の協働プログラムであり、その育成目標とする人材像、プログラム構想の企画性、計画性が明確であり、着実である。</p> <p>また、この目標の実現のために、修業年限にまで踏み込んだ学部3.5年と修士2.5年という独自の制度改革を提案し、新たな教育モデルとなる可能性がある。</p> <p>さらには、アマヌエンス（学務に関する専門秘書）といった新しい人材（役職）を採用（設置）して、教育・研究の周辺の全てを調整する試みは、本構想の継続的かつ円滑な運営に資するものと評価できる。</p> <p>なお、本構想はデザイン分野に限ったものであるが、大学全体への波及、他の部局との連携へと、さらに進めることの道筋が提示されることが期待される。</p>	